

書名	芦生原生林を歩きつくす			著者名	福本 繁／著		
出版社	ナカニシヤ出版	ISBN	978-4-7795-1610-8	本体価格	¥2,000	発売	2022/1/7
内容	多様な生きものたちによって安定した生態系を維持してきた芦生原生林は、近年増殖したシカの食害によって急激に荒廃。この原生の森を次世代に引き継ぐために20年間にわたって歩きつくして調査したフィールドワーカーの貴重な記録。						

書名	邪馬台国再考			著者名	小林 敏男／著		
出版社	筑摩書房	ISBN	978-4-480-07436-2	本体価格	¥820	発売	2022/1/7
内容	畿内ヤマト国(邪馬台国)と北九州ヤマト国(女王国)は別の国で、卑弥呼は後者の女王だった。長年の歴史学の文献研究に基づき、古代史最大の謎を解き明かす。						

書名	松と日本人			著者名	有岡 利幸／著		
出版社	講談社	ISBN	978-4-06-526761-5	本体価格	¥1,110	発売	2022/1/13
内容	松はいつの時代にも、日本人には特別な存在でした。奈良時代より松明(たいまつ)として照明に使われ、平安貴族は、贈り物や文を、〈雅(みやび)〉なしきたりとして、松の折り枝を結んでいました。神が宿るといわれた聖なる木は、いかに私たちの美意識や文化に影響を与えてきたのでしょうか。『古事記』『万葉集』『日本書紀』などの文学、『源氏物語絵巻』や仏画、和歌での描写を渉猟し、そこに隠された、日本人の死生観や宗教観を探ります。						

書名	なないろ探訪記(1)			著者名	日生 マユ／著		
出版社	講談社	ISBN	978-4-06-524245-2	本体価格	¥660	発売	2022/1/13
内容	奈良の公園の池で偶然発見されたニッポンバラタナゴ(ペタキン)。とうに絶滅したと思われていた、その魚の発見は奇跡と称された。ペタキンの生育には、卵を産みつけるドブガイという二枚貝、ドブガイの幼生が成長するためのヨシノボリというハゼの仲間の存在が必要で、その生態系をまるごと維持していた奇跡的な池は「タイムカプセル」と呼ばれた。かつて、ペタキンの奇跡に魅了され、一心に研究を続けていた父親の面影を追って、少女・カナは家を出る。自然と環境、父の足跡をめぐって、とまっていたカナの時間が再び動き出す――。小学校の学校医を描いた大ヒット作『放課後カルテ』の日生マユ、最新刊!						

書名	戦後日本の文化運動と歴史叙述			著者名	高田 雅士／著			
出版社	小さ子社	ISBN	978-4-90978212-0	本体価格	¥4,800	発売	2022/1/15	
内容	本書は、地域に生きる人びとが主体的な歴史意識を形成していくうえで、国民的歴史学運動の経験はどのような意味を持ったのかを明らかにする。京都府南部や奈良を主たるフィールドに、地域に残された新資料を掘り起こし、聞き取りなどの手法も駆使して探究。さらに、人びとの「その後」のあゆみにも目を向け、地域社会の変容と関わらせながら、彼らがどのように新たな運動に取り組んでいったのかをとりあげることで、国民的歴史学運動の有した意義をあらためて地域や人びとの側からとらえ返す。							
書名	ロシアのチョコレート包み紙			著者名	小我野明子、イーゴリ・スミレンヌイ／著 翻訳: 有信優子			
出版社	青幻舎	ISBN	978-4-86152-878-1	本体価格	¥2,200	発売	2022/1/20	
内容	日本では今まで紹介される機会が少なかった、ロシアのチョコレートの包み紙。それは、愛らしさだけでなく歴史や社会情勢をも表現する奥深さを併せ持ったものでした。本書は、そんなソ連時代の包み紙を、モスクワのパッケージデザイン専門誌「タラ・イ・ウパコフカ」編集長のコレクションからご紹介します。様々な包み紙があるなかで、1950～80年代のものを中心に、人々から愛されたパッケージの数々を収録。							
書名	教養として学んでおきたい女性天皇			著者名	原田 実／著			
出版社	マイナビ出版	ISBN	978-4-8399-7795-5	本体価格	¥870	発売	2022/1/27	
内容	皇位継承問題などで様々な議論が起こるたびに、女性天皇、女系天皇が話題になりますが、未来における皇室の在り方を考えていくためには、かつての時代について学ぶ必要があるでしょう。古代日本から江戸時代まで、女性天皇が統治者として果たしてきた責務について学んでみませんか？持統天皇といった8人10代の女性天皇の責務だけでなく、女王卑弥呼、神功皇后などの歴史的な位置づけなどについても解説します。							
書名	日本古代の外交と礼制			著者名	浜田 久美子／著			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-04666-4	本体価格	¥10,000	発売	2022/1/31	
内容	中国において君主の徳の規範であった礼制は、古代の日本と周辺国との外交にも影響を及ぼした。礼制を東アジアに共通する概念で捉え直し、外交儀礼や外交文書、新羅との大臣外交や藤原仲麻呂の渤海外交を分析する。従来、法の整備に一元化されてきた国家形成の過程に、礼の整備の段階があることを論じ、「律令国家」の概念に問題を提起した注目の1冊。							